

メーデー・スローガン

支え合い 助け合う 心をひとつに力を合わせ、
暮らしの底上げを実現しよう！

メーデー宣言(案)

本日、私たちは第87回三重県中央メーデーを開催した。

4月14日以降、熊本県・大分県で発生した巨大地震は、継続的かつ広範囲に甚大な損害を与えた。一連の地震災害で尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被害に遭われた方々、避難を余儀なくされた方々にお見舞いを申し上げる。

私たちは自然の驚異と向き合いつつ、お互いが力を合わせ、支え合い助け合い生きていかなければならない。あの東日本大震災から5年が経過したが、今もなお多くの方々が心の苦しみを抱え、不自由な生活を強いられている。

連合三重は、被災地の復旧・復興・再生を全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないよう、被災地はもとより、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）と連携し、戦争や紛争、テロなど世界平和を脅かす要因ともなる、貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害の撲滅に立ち向かい、すべての人々にディーセント・ワークを実現していかなければならない。

そのためにも、本年開催されるG7伊勢志摩サミットでは、世界の労働組合の声を結集し、「不平等の是正」「人への投資とディーセント・ワークの創出」「ジェンダー平等」「雇用に配慮した循環型社会への移行」を訴えていく。

一方、国内においては、働き方、性別、企業規模、地域の違いなどによる格差や低所得、将来不安を原因とする長期デフレからの脱却が喫緊の課題である。これらの課題を克服し、経済の好循環を実現させるために、2016年春季生活闘争を通じたすべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をはかる。加えて、雇用、労働、福祉など政策・制度の実現を通じた雇用の安定と質の向上や、子育て、医療、介護などの社会的セーフティネットの拡大・強化による将来不安の解消、さらには労働組合づくりを通じた集团的労使関係の拡大を進めなければならない。

今こそ、暮らしの底上げが必要である。パートや派遣、有期などで働く非正規労働者や中小・地場企業で働く労働者、未組織労働者と手を携え、すべての働く者・生活者を代表し、志を同じくする関係団体やNPO・NGOとの連携を深め、「働くことを軸とする安心社会」をつくろう！

2016年4月29日

第87回三重県中央メーデー

暮らしの底上げ実現 に向けた特別決議(案)

雇用・生活の安定と明日への希望——これこそが社会の持続可能性を実現するカギである。雇用労働者の7割を占める中小企業で働く人々や約2,000万人の非正規雇用で働く人々をはじめ、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」を確実に進めることが不可欠であり、子育て・医療・介護などの将来不安も払拭されなければならない。当然のことながら、雇用と生活に重大な影響を及ぼす労働者保護ルールの改悪は、これに逆行するものであり断じて認められない。

私たちがめざすものは「働くことを軸とする安心社会」である。それは、誰もが公正な労働条件のもとで多様な働き方を通じて社会に参加でき、互いに社会的・経済的な自立を支え合い、自己実現に挑戦できる活力あふれる参加型の社会である。

こうした社会を実現するため、私たちは以下を求めて取り組む。

- 一、将来世代への責任を果たし、真面目に働き生活を営む者が報われ、暮らしの底上げにつながる政策の実現
- 一、誰もが誇りを持って働き続けられる良質な雇用と労働条件の確保、安全・安心に暮らすための社会的セーフティネットの拡充
- 一、立憲主義と民主主義に立脚し、基本的人権、平和主義などの普遍的価値を尊重する、健全で緊張感ある政治の確立

本メーデーを契機に、私たちは「クラシノソコアゲ応援団！2016 R ENGOキャンペーン」を通じて、一人ひとりが、職場・家庭・地域で理解と共感を呼び起こす取り組みをより一層展開し、社会的うねりを巻き起こしていく。そのうえで、連合三重は、働く者に寄り添う政治の実現をめざして、来たる7月の参議院議員選挙での組織内候補者ならびに推薦候補者全員の勝利に向け、総力を挙げて取り組む。以上、決議する。

2016年4月29日

第87回三重県中央メーデー

メーデー (May Day) とは

1886年5月1日にアメリカの労働者が8時間労働制を要求してストライキを行ったのが起源です。当時の労働者は、低賃金で1日12時間労働以上働かされるなど過酷な生活を強いられ、労働時間の短縮は悲願でした。

日本では1920年5月2日に第1回のメーデーが行われ、東京の上野公園に1万人の労働者が集まり、8時間労働制や失業の防止、最低賃金法の制定などを訴えました。これ以降、メーデーは「労働者の祭典」として労働者が団結して権利を要求する日とされています。

